

2017 岡山K-CARミーティング 大会規則書

1) 大会名称

大会名：2017 岡山K-CARミーティング in OKAYAMA International Circuit

2) 開催日 / 申込期間

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 開催日：2017年4月30日(日) | 申込期間：3月21日(火)～4月14日(金) |
| 2. 開催日：2017年6月18日(日) | 申込期間：5月8日(月)～6月2日(金) |
| 3. 開催日：2017年12月24日(日) | 申込期間：11月20日(月)～12月8日(金) |

開催クラス 開催日	NA660	スーパー スプリント	コペン	S660	36アルト ターボ	90分耐久	Super660 Taikyū
4/30(日)	●	●	●	●	●		
6/18(日)							●
12/24(日)	●	●	●	●	●	●	

3) 主催者及び大会事務局

岡山K-CARミーティング事務局

〒719-0254 岡山県浅口市鴨方町六条院東425-1

(有)アシスト内

TEL 0865-44-4160 FAX 0865-44-0113

4) 開催場所

岡山国際サーキット(3703m) 〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210

5) 参加資格

大会期間中有効な運転免許所持者でサーキット走行マナーを守り主催者の指示に従える心身共に健康な方。

6) 開催クラス

1.スプリントレース

NA660
スーパースプリント
コペン&新型コペン
S660
36アルトターボ

2.耐久レース

- ①ST-1クラス/Racing・スーパーチューンターボ
- ②ST-2クラス/Racing・660ターボ
- ③ST-3クラス/Racing・マルチNA
- ④ST-4クラス/ナンバー付ラジアル・ターボ
- ⑤ST-5クラス/ナンバー付ラジアル・ノーマルNA
- ⑥ST-6クラス/ナンバー付ラジアル・ノーマルNA-N

※参加台数によりレース内容やクラス統合の場合もあります。

2.Super660Taikyuレース

- ①ST-1クラス/オープン（軽カーエンジン使用）、燃料使用無制限
- ②ST-2クラス/チューンドターボ
- ③ST-3クラス/チューンドNA・MTREC
- ④ST-4クラス/ナンバー付ターボ・ラジアルタイヤ限定
- ⑤ST-5クラス/ナンバー付新規格NA・ラジアルタイヤ限定
- ⑥ST-6クラス/計測器リレーENJOYクラス

ST-1クラスは燃料使用制限なし、ST-2～ST-6クラスは燃料使用制限ありのエコラン耐久。

7) 参加申込

①申込先

(有)アシスト内 岡山 K-CAR ミーティング事務局係
〒719-0254 岡山県浅口市鴨方町六条院東425-1
TEL 0865-44-4160 FAX 0865-44-0113

②参加申込期間

本規則書 2) に示す。

③申込方法

- ・参加申込書および車両仕様書に必要事項を記入し、事務局へFAXまたはメールで送付し、参加料は銀行振込または郵便振替にて支払う。競技当日は参加申込書と車両仕様書の原本を必ず持参すること。書類と参加料の双方がそろった時点で正式受付とする。

(銀行口座)

中国銀行 鴨方支店 普通預金 NO.1414010 口座名義 有限会社アシスト

(郵便振替口座)

口座番号 01330-7-78807 加入者名 : 有限会社アシスト

※ 郵便振替記入用紙通信欄には必ず「参加イベント名・開催日・参加クラス」を記入すること。

④参加料（税込）

- ・スプリントレース 25,000円/1台
- ・90分耐久レース 42,000円/1チーム
- ・Super660Taikyu 120,000円/1チーム

※ 申込後のキャンセル受付、入金後のご返金は一切致しません。また、次回繰越対応も致しかねますのでご了承ください。

⑤募集台数

- ・各スプリントレース約40台、耐久レースは各クラス合計で約100台

⑥車両・ドライバーの登録

1エントリーにつき登録できる車両台数、ドライバーの人員は下記のとおりとする。

(スプリントレース)

車両は1台、ドライバーは1名。

(90分耐久レース)

車両は1台、もしくは計測器リレー方式を希望する場合は2台まで追加可能とし計3台、ドライバーは1名以上4名まで。

(Super660Taikyu)

車両は1台、スペアカーの登録も可能。ドライバーは2名以上で構成してください。

ST-6クラス/計測器リレーENJOYクラス については、車両2台以上でエントリーのこと。

8) 車両規定

(共通規定)

- ・参加車両は市販されている軽四輪自動車をベースとすること。
- ・ヘッドライト（ナンバーなし車両は1灯以上）、ウinker、ストップランプ、フロントワイパーが正常に作動する車両であること。
- ・シートベルトは4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。
- ・ロールバーは運転手の安全が確保された6点式以上のロールバーの装着を強く推奨する。
- ・音量規定には制限は設けませんが、近隣の迷惑や環境の為にも直管爆音マフラーの装着はご遠慮ください。
- ・各クラス別の特別規定もありますのでご注意ください。

(スプリント車両規定)

◆NA660

0クラス / 改造範囲の広いチューニングカークラス。（原則、会場までの自走不可）

1クラス / 一般公道走行可能な完全車検対応の改造車。LSD装着可、ギア比変更OK

2クラス / 3クラス仕様のステップアップ。ハイグリップタイヤ&軽量化OK

3クラス / ハイグリップタイヤ、ボンネット、ハッチなどの軽量化禁止。

4クラス / 2ペダル車両

※各クラスの詳細は、「NA660選手権車両規則」を参照。

※但し、一部の内容にてローカルルールを設ける。

◆スーパースプリント

- ・ナンバープレートの有無は問わず、共通規定を満たす新および旧規格車両。タイヤは自由とする。

スーパーチューンドクラス

- ・大幅な排気量アップなどハードチューニングが施された車両。主にターボ車両。ショップデモカー推奨。

660ターボクラス

- ・排気量をおよそ660ccまでとするライトチューニングが施されたターボ車両。

チューンドNAクラス

- ・マルチスロットル（Mトレックなど）を装備するNA車両、または排気量アップなどハードチューニングが施されたNA車両。

◆コペン&新型コペン

オープンクラス

- ・改造無制限。Sタイヤ使用可。

チューンドタービンクラス

- ・純正タービン以外装着車両

ノーマルタービンクラス

- ・ダイハツ純正タービン装着車両。タイヤ幅自由。

ノーマル165&ATクラス

- ・ノーマルタービンでタイヤ幅165まで。ATクラスはタイヤ幅は問わない。

◆S660

チューンドタービンクラス

- ・純正タービン以外装着車両。ラジアルタイヤ限定。

ノーマルタービンクラス

- ・純正タービン装着車両。ラジアルタイヤ限定。

※純正タービンに加工を加えている場合は、加工内容を主催者に事前に申し出て該当するクラスの確認をすること。著しい性能差が認められた場合は、主催者判断でチューンドタービンクラスに振り分ける場合がある。

CVTクラス

- ・ラジアルタイヤ限定。

◆36アルトターボ

- ・新型アルトターボRS&アルトワークス。ラジアルタイヤ限定。

チューンドタービンクラス

- ・純正タービン以外装着車両

ノーマルタービンクラス

- ・純正タービン装着車両。

(90分耐久レース車両規定)

①ST-1クラス/Racing・スーパーチューンターボ

- ・ナンバープレートの有無は問わず、共通規定を満たし、大幅な排気量アップなどハードチューニングが施されたターボ車両。タイヤは自由とする。ショップデモカー推奨。

②ST-2クラス/Racing・660ターボ

- ・ナンバープレートの有無は問わず、共通規定を満たし、排気量およそ660 c cまでとするライトチューニングが施されたターボ車両。タイヤは自由とする。

③ST-3クラス/Racing・マルチNA

- ・ナンバープレートの有無は問わず、共通規定を満たし、マルチスロットル（Mトレックなど）を装備するNA車両、または排気量アップなどハードチューニングが施されたNA車両。タイヤは自由とする。

④ST-4クラス/ナンバー付ラジアル・ターボ

- ・道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有するターボ車両。タイヤはSタイヤ、スリックタイヤを禁止する。

⑤ST-5クラス/ナンバー付ラジアル・ノーマルNA

- ・道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有するNA車両。タイヤはSタイヤ、スリックタイヤを禁止する。また、マルチスロットル（Mトレックなど）を装備する車両は、このクラスへの出場を認めない。※ただし、ナンバープレートのない車両でも、クラス車両規定同等の車両内容（著しい軽量化などを除く）であれば、主催者の判断により出場が認められる。

⑥ST-6クラス/ナンバー付ラジアル・ノーマルNA-N

- ・初心者やローコストで耐久レースに参加したいチームにお勧めです。
- ・セカンドラジアル限定。純正触媒に限る。（加工も含めて禁止）コンピューター変更は一切禁止。（スピードリミッター解除を除く）

(Super660Taikyulレース車両規定)

①ST-1クラス/オープン（軽カーエンジン使用）

- ・軽カーエンジンを搭載した、パイプフレーム車両およびオリジナル車両など、タイヤも自由。
- 以下のクラスに属さない車両はこのクラス。

②ST-2クラス/チューンドターボ

- ・ナンバープレートの有無は問わず、共通規定を満たし、排気量アップなどハードチューニングが施されたターボ車両。SタイヤOK。

③ST-3クラス/チューンドNA&MTREC

- ・ナンバープレートの有無は問わず、排気量アップなどのNAのチューニングカーもしくは、トゥディ&ビートのMTRECエンジン搭載車両。SタイヤOK。

④ST-4クラス/ナンバー付ターボ・ラジアルタイヤ限定

- ・道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有するターボ車両。ラジアルタイヤ限定。

- ⑤ST-5クラス/ナンバー付新規格NAラジアルタイヤ限定
 - ・主に、NA660クラス車両（全クラス統一）ラジアルタイヤ限定。
- ⑥ST-6クラス/計測器リレーENJOYクラス
 - ・車両規則なし。ST-1～ST-5のいずれかに合致していればOK。

9) 競技規定

(スプリント競技規定)

- ・各クラスとも予選15分、決勝8周（約29.6km）とする。

(90分耐久競技規定)

- ・予選15分、決勝90分とする。
- ・給油は自由。ただし、レース中の給油は指定給油場所のみで行う。この場合、給油中はエンジンを停止し、ドライバーチェンジを含むすべての作業を禁止する。（給油中はドライバーが車内に留まることはできない）安全面の確保から、著しい燃料の拭きこぼしなどはペナルティの対象とする。また、レース中の自チームピットでの給油は失格とする。
- ・車両は参加申込時に事前登録した複数台数（計3台まで）により計測器リレー方式も可能とする。ただし、計測器リレーはリレー指定場所のみで行う。リレー時には、ゼッケンの張り替えも確実に行うこと。計測器取付不備、ゼッケン張り替え不備はペナルティの対象とする。
- ・レース中、2回のピットインを義務づける。（計測器リレー、給油、ドライバーチェンジを含む）
- ・給油または計測器リレーを伴わない場合は、自ピットでのドライバーチェンジなどの作業を可能とする。
- ・ひとりのドライバーによる45分以上の連続走行を禁止する。45分以上の走行があった場合は、当該周回数を減算する。

※登録ドライバーが1人の場合は下記のような流れでのピットインを義務付けします。

指定場所にピットイン →シートベルトをはずし車外に出る →再度乗車後、シートベルトを付けスタートする。

(Super660Taikyu競技規定)

※ 別途付則に記す。

10) 参加受付・車両検査・ブリーフィング

1. 参加受付

参加者はタイムスケジュールに示された時間に下記のことを提示のうえ、参加受付をしなければ出走することができない。

・参加受理書 ・運転免許証 ・自動計測器借用誓約書 ・参加申込書および車両仕様書原本

2. 車両検査

参加車両はタイムスケジュールに示された時間に必ず車両検査を受け、合格しなければならない。

車両検査は出走可能な状態であり、ゼッケンと計測器を取り付けた状態で受けること。なお、主催者は必要に応じ、随時車検を行うことができる。

3. 車両の変更

大会に出場する車両の変更は、参加受付時までに大会事務局に申し出た場合にのみ許可される。

当日になってからのクラス変更は原則として認めない。

4. ブリーフィング

ドライバーは定められた時間にドライバーズブリーフィングに出席しなければならない。

5. ゼッケン

配布ゼッケン、自作ゼッケンに限らず車体に貼り付ける際のガムテープはクラスによって色分けの指定をします。指定色については後日発表とします。

11) 予選・決勝

予選には必ず出席し、ラップタイムの計時を受けなければならない。何らかの理由により計時を受けることができなかった場合は、予選結果の発表後に大会事務局まで決勝出走願を提出すれば決勝レースへの出走を認められる場合がある。決勝出走願を提出したドライバーが複数の場合、そのグリッドは決勝出走願を大会事務局に提出した順番になる。

12) スタート方法

予選結果に基づくグリッドスタートとするが、やむを得ず変更となる場合がある。各クラスとも、グリッドはタイム順とする。(ローリングスタートになる場合も含む)

13) 燃料

サーキット場内のガソリンスタンドで購入可能です。(他銘柄でもOKとするが、取扱はガソリン専用の携行缶を使用すること) ※耐久レースのエコランククラスは別途付則に記す。

14) ピットイン・給油方法

- ・ピットロードの速度規定は60km/hです。予選、決勝レースとも速度超過はペナルティが課せられます。
- ・給油には必ず、ガソリン専用の携行缶を使用し、給油時は必ずエンジンは停止しなければならない。
 - ※ 耐久レースの給油方法は別途付則に記す。

15) ペナルティ・オレンジボール

1. 反則スタートや黄旗追い越しなどの違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポストで提示される。この場合、当該車両はピットに入り、オフィシャルの指示に従い、指定されたエリアに停止すること。違反の軽重により、原則として1～10秒間のペナルティストップとなる。ペナルティストップ終了後はレースに復帰できる。ペナルティストップ時のピットインを利用しピット作業を行うことはできないが、エンジンをストールさせ、再始動できない場合はバッテリー交換など最小限の作業のみ認める。
2. ペナルティの黒旗を3周以上無視して走行を続けた場合は、当該車両の黒旗を解除し、周回数減算や失格などのペナルティに切り替えられる。
3. オレンジボール、黒旗などがメインポストにて掲示された車両のチーム関係者は、同時にピットサインなどでドライバーに知らせること。

16) ドライバーの装備

全クラス

1. 全クラス、難燃素材のレーシングスーツまたはドライビングスーツ (FIA規格は不問)
レーシンググローブ/レーシングシューズ/4輪用ヘルメット を基本とする。
2. ドライバーとピットクルーの連絡方法として無線等の使用を認めます。

17) ピット・ピットロード・サインエリア

1. ピットは常に清潔を保ち、使用後は必ず清掃すること。
2. ピットでのタコ足配線や無理な電源の確保は、火災や不慮の事故などの原因につながる恐れがあるので絶対に行わないこと。
3. ピット割り当て表が配布された場合は、原則として指定されたピットNo.を使用しなければならない。なお変更・交換を希望する場合は各チームで交渉後、大会事務局に申し出ること。
4. ピットサインを出すためプラットホームに出入りする際は最短距離を横断し、ピットインおよびピットアウトする車両に十分注意すること。またピット作業エリアとプラットホームには、18歳未満の者が立ち入ることは一切できないものとし、当該ピットはチームスタッフ全員が責任をもって管理する。

5. 決勝がスタートしてからチェッカーフラッグが振られるまでにパドック（ピット内も含む）に乗り入れた場合、リタイアしたものとみなされ、再度コースへ復帰することは認められない。
6. ピットロードは安全のため60km/h以下で走行すること。
7. プラットホームでの傘の使用や飲食はすべて禁止とする。
8. ペット類のパドック・ピットエリアへの持込みは禁止。

18) 走行中の厳守事項

1. コースはピットロードを含め、いかなる場合でも逆走してはならない。
2. セーフティネットを取付けていない車両は、運転席側の窓を開けて走行してはならない。
3. ピットロードでのバックギヤの使用を禁止する。バックする場合は、エンジンを停止して手押すること。
4. 走行中、ドライバーが故意に他の走行を妨害してはならない。またあきらかに重大な事故の発生が予測できる行為を行ってはならない。
5. 走行中にコースアウトし、コースに復帰する場合は後方をよく確認し、後続車の走行を妨げないタイミングで復帰しなければならない。また車両チェックのため、しばらくグリーン上を走行してからコースに戻ることに。

19) リタイア

1. ピットでのリタイア
イベント中、事故あるいは車両の故障などで、その走行の権利を放棄（リタイア）する場合は原則としてピットに停止し、その旨をオフィシャルに届けるものとする。また、パドックに出た車両はリタイアとする。
2. コース上でのリタイア
コース上において車両が動かなかった為にリタイアする場合は、安全な場所に停止した後、その地点から最も近いポストにいるコースオフィシャルにその旨を届けなければならない。また、レッカー車などの補助（オフィシャル補助も含む）を受けてのコース復帰は不可とする。
3. 意思表示
オフィシャルに届け出る前に、ヘルメットを脱ぐなどの行為で（コース上では脱がない）その意思を表明することがドライバーとしての義務であるが、負傷その他の理由で意思の表明ができない状況にあってはオフィシャルの判断にゆだねる。
一般的には車両を放棄した場合リタイアとみなされる。

20) 賞典

各クラスの決勝出走台数により賞典対象を下記のとおり決める。

- ・出走台数 2台～3台の場合は1位のみ・・・トロフィー
- ・出走台数 4台以上の場合は3位まで・・・トロフィー

21) 参加者の厳守事項

1. すべての参加者は大会中、大会役員の指示に従わなければならない。
2. すべての参加者は大会規則書および車両規則書を熟読して理解し、すべての規則を遵守する。他の参加者や一般の来場者の安全を脅かすような言動をしてはならず、スポーツマンシップに則って行動しなければならない。
3. 許された場所を除いて喫煙は厳禁とする。それ以外の場所での喫煙が発見された場合、ドライバー・メカニック・観戦者を問わず罰金もしくは他のペナルティを与える。なお参加者は自チーム関係者の行動についても責任を負わなければならない。その旨を十分に通達しておくこと。
4. 場内施設を破損した場合は、復旧に要した費用を実費お支払いいただきます。タイヤバリア等も含んでおります事をあらかじめご了承ください。

5. すべての参加者はサーキットの内外を問わず、主催者や大会役員および大会参加者の名誉を傷つけるような言動の一切をしてはならない。特にインターネットでの誹謗中傷や大会理念を傷つける行為は参加拒否などの重大なペナルティを例外なく与えるので十分に注意すること。パドック内での乱暴な運転や前日の過度な飲酒、その他あらゆる部分においても、モータースポーツに愛する者として自覚を持って行動しなければならない。

22) 安全遵守事項

- ・走行に適した健康状態で参加し、走行中は常にお互いの安全を考慮した強制的マナーのもとに自己の技量とコース状態に適した速度で走行すること。また、危険とみなされる行為を行ってはならない。
- ・トラブルや時間の関係でスケジュールが変更になる場合もあります。予めご了承ください。
- ・開催は雨天決行となります。当日の雨量により時間(周回数)を減算する場合があります。

23) 本規則の施行として

ここに呈示されている事以外におこった事項は、主催者と競技長と参加者の中からか、または別に代表者1名の計3名を選出し、協議のうえ（ペナルティなど）決定する。本規則とは、ここに書かれている内容と、ドライバースブリーフィングの内容等も含まれる。